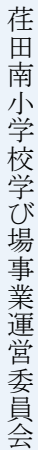


8月24日から26日までの三日間で、夏休みの恒例となりました児童学習会を実施しました。この学習会は、「荏田南小学校学び場事業運営委員会」が中心となり、学生ボランティアや荏田南地区社会福祉協議会関係者により実施しています。今年で五年目となりますが、初めの年に参加した三年生の児童は、今年からお隣の荏田南中学校に進学となりました

学習会は、前半の一時間は、各自持参の自由問題をボランテイアがアドバイスをしながら進め、後半の一時間は、「都筑親子科学クラブ」のお二人による工作や実験を行いました。今年は、一日目は「双眼鏡を作ろう」、二日目は「万華鏡を作ろう」をテーマに、実際に工作キットを使い、双眼鏡と万華鏡を作りました。最初は作れないと言っていた子供たちでしたが、最終的には全員が作ることができて、自分たちが作ったものを喜んで持ち帰りました。三日目は「液体窒素を知って、遊ぼう」をテーマに、液体窒素を使った実験を行いました。危険を避けるために、実際に液体窒素を扱うのは、科学クラブのお二人のみですが、液体窒素に入れた瞬間に冷凍されたバナナで釘が打てることなど、不思議そうに見入っていました。

今年は、のべで、113名の児童が参加し、にぎやかに、楽しく実施でき、みんなの笑顔が印象に残りました。

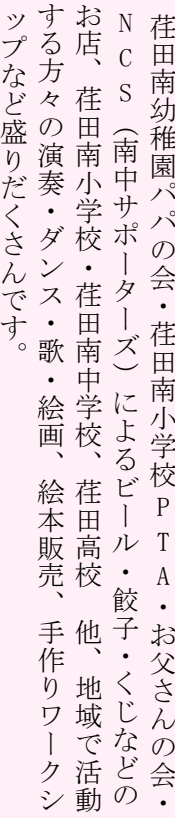


荏田南小学校 臼井 逞人

[illegible]

この文章は、6月25日に開催された「国際平和スピーチコンテスト」都筑区の審査会において、臼井さんが往田南小学校の代表として立派なスピーチをされた時の文章です。

今年、11月28日(土) 11:00~17:30 (予定)
荏田南小学校体育館で開催が決定しました。



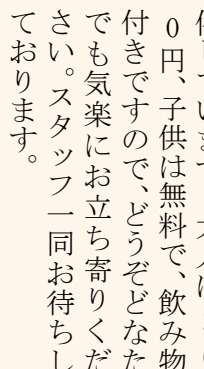
校PTA会長OB会が中心となり荏田南連合はじめたくさんの地域の団体にご協力いただいています

荏田南に住んでいる人による荏田南に住
んでいる人のための荏田南が大好きな人た
ちにお届けする文化祭！ぜひぜひ遊びに
来てくださいね♪お待ちしております

荏田南文化祭 副実行委員長 杉本周子

7月11日に、ふれあいの木の周年行事を行いました。当日は、飲み物を飲みながらコンサートを楽しんだりして、みんなでお祝いをしました。

二年目に入り、新しい活動として映写会を始めました。「風と共に去りぬ」や「東京物語」「小鹿物語」などの昔懐かしい映画を老若男女だれでも楽しめる内容としています。8月22日に初回映写会を実施し、毎月第一、第三土曜日の13時に開



ふれあいの木運営協議会

荏田南中学校 二年生

みなさんは、「人権」という言葉を聞いてどんなことを考えますか。私はこれまで人権でなんだか難しそうだし、教科書の中だけの、遠い話のように感じていました。ですが、私は五月の東京遠足の行きの電車の中で体験したある出来事をきっかけに、深く考えるようになりました。

私達はとても混んでいる電車に乗っていました。電車がガタゴト揺れるたびに足元がよろけてしまつて、まっすぐ立っているのが難しいほどでした。その時大きなお荷物を持つおばあさんが同じ車両に乗ってきました。電車のシートは全部埋まつていて、おばあさんの目の前にはスマホをずっと見ている人や目をつぶって寝ている大人の人がたくさんいました。みんなおばあさんに気づいていないのか、それとも気づかないふりをしているのか、誰も席を譲ろうとしませんでした。

しばらくすると私達の近くの席が一つ空きました。おばあさんに席を譲ろうか迷っているとその時、電車が大きくガタンと揺れまじつた。おばあさんが倒れそうになつたので、すぐに友達と一緒に「ここに座ってください」と声をかけました。最初は「大丈夫だよ」と言つていましたが、「私達はあと少しで降りるので、座ってください」と言うと、おばあさんは「ありがとうね、やさしいね」と、とても嬉しそうに笑つて座ってくれました。そして、私たちに「今日は遠足？楽しんでね」と言つてくれました。私たちはとても嬉しい気持ちになりました。

家に帰ってから、私は今日の出来事についてよく考えてみました。よくニュースなどで高齢者をだますなりすまし詐欺や、高齢者が近隣の人と関わず、一人寂しく暮らしている話をよく耳にします。このような問題が起きるのは、社会が高齢者のことを「お荷物」みたいにしてきたり、自分には関係ない、と無関心でいるからではないでしょうか。

誰だって、いつかは年をとるし、耳が遠くなったり、歩くのが遅

なくなつたりします。それなのに今の世の中がスピードや便利さばかりを気にして高冷者を置き去りにして、高冷者の方が安心して暮らせる

を安心して高齒者を出しているように思えます。高齡者の「安心して暮らす」を第一に高齒者を置き去りにし、高齒者の力が安心して暮らす

「権利」を忘れてしまうのは、とても悲しいことだと思います。

高齡者の人権を守るために、中学生の私たちにできることは、ま

す。そして、もし困っている高齢者が、たの大きな荷物を待つて皆

段を登っている高齢者をみかけたとき、お店で機械の操作方法が分

からない高齢者の近くにいた場合、「お手伝いしましょうか」と声

をかけることは 中学生の私達も出来ることだと思えます。
私は、自分が将来手をとつて、周りの人から憂へてもら

和に、目方な料を全をとつた時に、周りの人から侮れなくして貰ひたい。社会であつて欲しいです。そのために周りにの人に助けてもらつ

たときには、電車で出会ったおばあさんのように笑顔で『ありがと

う」とお札が言えるようになりたいです。電車でお会ったおはあさ

自分の優しい笑顔を忘れない。和は心から出ること、小さいながらも勇気を持って。

「ふひふふふ、本爺に、うきうきして」

※介護等について、お気軽にご相談下さい。

